

9月号

いっしん

第368号

平成27年(2015年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-622895 / FAX 020-4665-5653

Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

我をこころし
真に生きる
樂しさを
味わう人ぞ
わが道の友
甘本親教会
初代親先生み致

小倉教会 布教130年記念大祭

10月20日(火)

甘木親教会 二代教会長 安武文雄大人 20年祭

12月23日(祝)



鹿児島地方から4教会
が演奏行進に参加



少年少女全国大会「かがやけ大行進」
8月9日



第六十八回 金光教少年少女全国大会

御礼参拝させていただきます。

ました。

夏本番となった八月八日、第六十八回 金光教少年少女全国大会に参拝のため、午前九時に加治木教会のお広前で、お届け・御祈念ののち出発させていただきました。

小さな子どもたちも参拝のおかげを蒙らせていただいていたので、休憩も多めに取って健康面と安全面に十分配慮しての参拝となりました。九日(日)午前三時四十五分、金光様お出ましをお迎えさせていただきました。

歴代金光教様の日々変わらぬご神勤・お祈りを御礼申し上げてお出ましをお迎えさせていただきます。

九日(日)午前十時三十分から始まった「かがやけ大行進」では、日々健康のおかげを蒙らせていただいていることの御礼を申し上げるべく、これまでの練習の成果を発揮して元気に行進させていただくことができました。

第68回少年少女全国大会参拝…P1~3
お知らせ…P7

天地金乃神御大祭ご教話…P5~7
行事予定…P8



金光様お出ましお迎え
9日 午前3時45分



お届け↑

教祖様の
奥津城参拝→



トランペットを一生懸命吹きとおしました！

八月八日、午後七時前に、無事ご
靈地に到着し、宿泊先の光風館に荷
物を下ろすと、皆夕食は後回しにし
て、「たやけパレード」「夜の集い」
に境内へと向かい、夕食を頂いたの
は「夜の集い」終了後で午後九時過
ぎでした。
九日(日)午前三時四十五分の金光
様お出ましをお迎えさせていただき
歴代の金光教様の日々変わらぬご神
勤を御礼申し上げます。

朝食後、全員でお広前に参拝し、
御祈念・お届けをさせていただき、
奥津城に参拝させていただきまし
た。
午前十時三十分から始まった「か
がやけ大行進」には「鹿児島地方教
会連合会(ひっととバンド隊)で出
場行進させていただきました。
今年の「ひっととバンド隊」は、
トランペットが三本そろい、クラリ
ネット、サクソも加わり、大太鼓
も二個、小太鼓一個と、ピアノカー
台、さらにカライトランペット?も
加わりました。



「かがやけ大行進」正門の階段にて



祭典で、金光様ご夫妻へ花束が贈られました

九日(日)午前十三時三十分から祭場で「わかば祭」が始まりました。
 「わかば祭」は、祭典・式典・アトラクションの三部で構成されていきました。祭典では、教主金光さまご夫妻がご入場になられ、金光さまからのお言葉があり、わかば代表が金光様ご夫妻に花束を贈りました。
 アトラクションでは、桃太郎の物語をアレンジして、み教えを取り入れ、迫力のある演劇で、バンド隊の演奏やダンスに魅了されてしまいました。



素晴らしいアトラクションでした



← 祭典で、祭詞奏上中…

八月八日(日)、祭場での閉会セレモニーが終了すると、ご霊地(光風館)を出発し、山陽自動車道を一路、宿泊先の山口県防府市「防府サイクリングターミナル」に向かい、翌九日(月)の朝、見学地の「秋吉台サファリランド」を訪ねました。
 「サファリランド」では、音声ガイドで、出会う動物たちの説明を聞きながら、檻に入っていない動物たちを間近で見学できました。



→ 秋吉台サファリランドライオンも木陰でずんできました。

アフリカ生まれのライオンやピューマたちも、連日三十度以上の真夏日で、日陰で涼を取ってバテ気味でしたが、貴重な見学となりました。
 この日、明るい内に加治木の町に到着することができ、事故や体調不良などの過ちもなく、ありがたい御礼参拝をさせていただきました。



えさをもらうクマ



加治木教会
 天地金乃神御大祭ご教話 平成二十七年

「ここまでのお礼」と
 「ここからの願い」

③ …… ①～⑥

講師 大口教会長
 安武秀信 先生



そうして、七月二十六日に術後初めて、大口教会の方に帰らせていただき、二十七日に月例祭を仕えさせていただきました。

二十七日に大口教会の神饌室の、甘木の初代のみ歌をカレンダーにした日めくりをめくりますと「死せる身に痛さかゆさは なかるべし 詫びかつ礼び ひとすじに祈れ」というみ歌

なのです。

このみ歌は山口県の長門船木教会の初代の、田辺増美先生が結腸癌を一晚でお取り払い頂かれる直前に頂かれた歌です。

私も結腸なのでして、場所は違いますが田辺先生はS字型になっているところの結腸の癌をお取り払い頂いておりますのです。

そのために、考えさせられたのです。自分が術後初めて、大口教会に帰って月例祭を仕えるその日にめくった歌が、その田辺先生が頂かれた歌だな〜と、改めて田辺先生のことを思わせていただきました。

田辺先生のことを少し紹介させていただきます。

田辺先生は昭和二十二年七月三十日頃、腰が痛い、お腹がどうもおかしいということ、十日後の八月十一日に検診を受けられたときに、S状結腸に癌があることが見つかったのです。それから長門船木教会のご信徒の方が親先生の健康快復を願って、甘木の親教会にお参りなさっておられます。

そうして八月十七日にご信者さん

が帰ってこられたときに、甘木の初代から頂かれた歌がこの歌なのです。

「死せる身に 痛さかゆさは なるべし 詫びかつ礼び ひとすじに祈れ」と甘木の初代が書かれた歌を頂いて帰られたのです。

そのときに田辺先生は「そうだな、二年前の昭和二十年の八月六日、廣島の原爆で自分は無い命であったが、そこをおかけ頂いた、あのとき死んでおればそうだな」ということを思われたということ。

ですが、この八月十七日は、たいそう痛み苦しみ激しかったそうです。その前後の処を田辺先生ご本人の言葉を借りて申してみますと、

「十七日夜は殊の外苦痛の絶頂、氣息えんえん実に現世の終わりかと思ふことばかり。五分十分の間の長さ」と例えようも無い。十八日夕刻いよいよ衰弱甚だし。この頃小盃半分程の重湯辛うじて通る。一日わずか盃一杯半の重湯に活を得て、そのまま寝に就く、時刻まさに午後八時、引き続き翌朝七時まで前後不覚、二十日ぶりに安眠のおかげ襲ることが出来た。十一時間眠りとおし目覚めるに苦痛全くなし。た

だ不可思議の感深く。

妻曰く、前夜十一時頃お結界より退り、湯浴みして祈念のまま眠る間もなく物凄き『ゴブーン』との異様の音に目覚むる。やがて再び同じ音を聞き容態に注意するに安らかに眠るのみ。翌朝の病状と照合するに、この二回に及び音こそ大親神様の御神徳にて、結腸癌の手術の御手を下し給うたのである、まったく夢としか思えぬのである」

私の父が話しておりましたが、山にアケビという実がありますね、その実のようなものがザックリ下っており、お腹の外からも卵大のふくらみがあったそうですが、一晩でそれが消えお取り払いを頂かれたということなのです。

私の父が田辺先生と一緒に風呂に入ったことがあったそうですが、そのときに、田辺先生がお腹に神創膏を貼ってあり「それは何ですか」と聞くと「ここです、癌が一夜にして流れた痕です」と言われたそうです。

田辺先生はいつもそれを忘れないためにお腹に神創膏を貼っておられ

たということなのです。

お風呂に入るたびに自覚なさったのでしよう「あのときにおかけを頂いた…」と。

その十八日に、野村チトセという方が甘木教会にお参りして、夜の八時からの甘木の初代の御祈念に、甘木の信者さんと一緒に混じって御祈念されておられたそうです。

そのときに「先生の命は助ける」と、甘木の初代のお言葉で頂いてあります。

甘木の初代がそのようなことを仰るわけがないと思いますが、野村チトセさんにはそう聞こえたということなのです。

考えてみると、この午後八時から、田辺先生は熟睡されているのです。十八日の夜八時から十一時間、その間に癌をお取り払い頂かれたのです。

私の場合は、一夜にしてそういうおかけを頂いたわけではございませんが、数々の神計らいを頂いてのことと思います。

☆

信心を整理してみますと、だんだんとその神計らいというものを認識さ

せられます。

ここが大事なのです。振り返って、何度も何度も自分の今日までの信心を整理し直させてもらい、それによっていかに自分はおかけを頂いてきたかということ自覚するのです。

先ほど「大きな土台の上に、もう一つの土台」と申したところです。

取次ぎ助けられた世界があることをどれほど自覚しているかです。

先ず私の場合は、御本部に行かせてもらっていたがゆえに、検便なんかもしています。これが、地方にいたらしていないと思います。

そのまま気付かずにいれば、二十ミリ以上のポリーフは六十パーセントが癌化するといわれています。気付かずにいたならば、どうなっていたでしょうか。

それから、ESD手術のできる病院に導いていただいたということが、これまたありがたいのです。

最初の病院は金光町から車で二十分くらいの所です。

そこでも下剤をかけて内視鏡で検査するわけですから「ポリーフがあったら取りますよ」と最初から言われて

おり、私もそれに同意のハンコを押しておるのですから、いつでも切る事ができるのです。

ところが、私のポリープは大きかったものですから、その先生が大事を取られたようで「御本部に近い所がいよいよ」ということで、近くの病院に紹介状を書いて紹介して下さいました。

それで、帰って改めて近くの病院に行ったのです。そうして、その病院の先生が説明されるには「ポリープが平坦型であるので、ポリープの下に薬液を注入して浮かび上がらせ、切り取ります」とESD手術と同じ説明を受けて、何月何日に来てくださいということだったので行きまして、下剤をかけて、手術台に乗りました。

そうしますと、先生が「大きいですね」と言われまして、その次に「どうしようか」と言われました。

そう言われても、「こちらも困りますが、これは私に言われたのではなく、スタッフの看護師とか診療放射線技師等々の方々に相談なさったのか、もしくは独り言だったのかもわかりませんが、麻酔はかけてあるものの意識

ははっきりしていましたので、それが私に聞こえたのです。それがおかげです。

それで「ハック」と思ったのです。その前年に家内から言われたことを思い出したので。

前年の平成二十四年に大口教会の信者さんが、ESD手術を受けておられたのです。



その方は四十ミリという大きさで、一括切除されませんでした。熊本の名医といわれる病院で、家内が「そこでしてもらおうといいけどね」

言ったのを覚えておったのです。

私は「神様のおかげを頂けばどこでも一緒だ」と思っておりましたので、金光で手術をすることにしております。

しかし、その先生が「どうしようか」と言ってくれたものですから、それを思い出したので。

そうして、もう一つ、手術に入る前に看護師さんが問診をされ「連絡先はどこにすればいいですか」と尋ねられました。手術というのは、いつ何が起こるかわかりません。そのとき「鹿児島です」と答えますと「遠いですね」と言われました。

そういうことも頭にありましたので、それで言ったのです。

「先生、私は単身赴任です。できれば郷里に近い、家族のいつでもかつけられるようなところで手術させてもらいたいのですが」と言いました。手術台の上での、医者との交渉となりました。しかし、先生も「わかりました、そうしましょう」と言われストップされました。

そうして、手術台を降りて麻酔が切れるのを待ち、紹介状を書いて下さるときに「どちらの病院ですか」と聞かれましたので「熊本市内の高野病院です」と言いました。

私は、病院の名前しか聞いてなく、どんな病院かも全然知っていなかったのですが、先生の方が知っておられました「あー、あの病院なら大丈夫ですよ」と言われました。

それだけ有名な病院だということ
をそのとき知ったのですが、ほんとに
見事な手術でした。

二時間二十分かかりましたが、痛く
も痒くもないのです。術後、病室を出
まして麻酔が少し残っている状態で
イスに座っておりますたら、高野病院
の先生が切った物を容器に入れて見
せて下さいました。

小判のような形で、分割ではなく一
括切除です。見事なものでした。

そして言われたのが「ESD手術も
限界でしたよ、ESD手術は五ミリ
までで、あなたのは五五ミリでした
が、立派に取れましたよ」とのこと
でした。

「限界でした」ということを考えて
見ますと、二番目に行った病院の先生
が「どうしようか」と言われた意味が
よくわかります。

医者でも迷うくらいの大かさだっ
たということですよ。



ですが、高野病院の先生は、手術を
して見事に切除して下さいましたので
す。そのあと、十月二十九日に「S状結
腸と直腸の境目あたりに七ミリのポ
リプがありますから、これも取って
おきましょう」と言われました。

そこで十月二十九日に高野病院に
もう一回行きました。
そのときはもう、三十分もかかりま
せんでした。しかも二泊三日で、一日
だけ断食で、あとは重湯などを頂きま
した。(次号へつづく)

九月のご霊神様のおまじ

九月

中島時彦之霊神	昭和62・09・02
平島信彦之霊神	昭和20・09・03
前田満之霊神	昭和20・09・03
庄村ミサ之霊神	昭和42・09・05
桐野仲太郎之霊神	昭和10・09・09
汰木スエ之霊神	昭和55・09・12
大重為廣之霊神	昭和24・09・22
西本ハル子之霊神	平成17・09・25
桐野整之霊神	昭和45・09・28

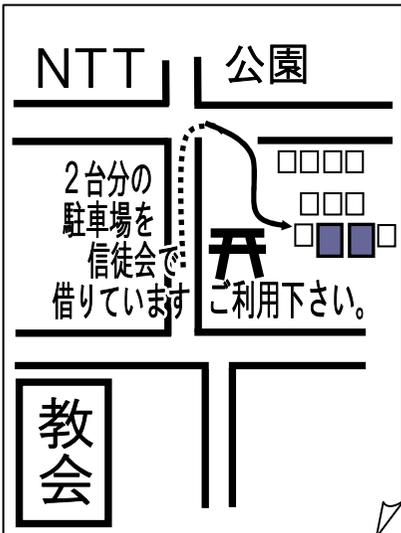
立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を
申し上げましょう。教会では、十日の月例祭で、霊前での
玉串の奉てんを準備しています。

あしあと

加治木教会行事記録

8月

- 1 (土) ●報徳月例祭10時半
(月例祭後、折鶴つなぎ)
- 2 (日) 夏のつどい (鹿野の森公園)
- 8 (土) 少年少女全国大会 出発
- 9 (日) 少年少女全国大会 当日
- 10 (月) 少年少女全国大会 帰着
- 11 (火) 斎掃御用 10時
- 12 (水) 星原家霊祭
- 12 (水) ●月例祭(大神様) 併せて、10時半
(水) 20 (木) 甘木親教会婦人教師会
- 21 (金) 斎掃御用 10時
- 22 (土) ●月例祭・共励会13時半
- 23 (日) 女性の集い (勤労奉仕センター) 10時~15時
- 31 (月) 斎掃御用 10時



九月五日(土)～六日(日)

甘木親教会

信徒研修の集い

九月二十三日(祝) 十時半より

秋季霊祭 奉仕

※祭典後、教話、茶話会。
(霊祭申込用紙、ご記入の上御結界へお届け下さい)

十月三日(土)～四日(日)

御本部生神金光大神御大祭 参拝

大型貸切バスにて参拝の予定、旅費約二万円(宿泊費込み)
光風館泊

九月二十六日(土)～二十七日(日)

十四時より

十二時半まで

南九州教区合同開催

青年ふれあいフォーラム

場所 仙寿の里温泉

信心発表

竹之下康秀氏(鹿児島教会)
田中朋子師(熊本県三角教会)

※森林浴(イクあり)(往復2キロ)：二十七

教会行事

9月

1 (火) ●報徳月例祭 10時半

5 (土)～6 (日)

甘木親教会信徒研修の集い

9 (水) 斎掃御用 10時

10 (木) ●生神金光
大神様 月例祭 10時半

21 (祝) 斎掃御用 10時

22 (休) ●月例祭・共励会 13時半

23 (祝) ●秋季霊祭 10時半

26 (土)～27 (日)

青年ふれあいフォーラム(4県教区合同開催)

30 (水) 斎掃御用 10時

10月

1 (木) ●報徳月例祭 10時半

3 (土) 矢野サダ子大刀自立日御祈念 10時

// 御本部 天地金乃神 御大祭参拝

4 (日) 御本部 天地金乃神 御大祭参拝

9 (金) 斎掃御用 10時

10 (土) ●生神金光
大神様 月例祭 10時半

20 (火) 小倉教会130年記念祭 参拝

21 (水) 斎掃御用 10時

22 (木) ●月例祭・共励会 13時半

24 (土) 御用奉仕

25 (日) 加治木教会御大祭

31 (土) 斎掃御用 10時



少年少女全国大会
「かがやけ大行進」
あとの記念撮影
8月9日
(鹿児島県内4教会)

加治木教会 バンド練習会

金曜日 午後7時半より

これから練習会に参加して
みなさんでお役に立たせていた
だきましよう。